

年間学習計画と評価について

学 校 名	学 年	教 科
内 部 中 学 校	2 年	技術・家庭科 技術分野

1 学習のねらい等

学習のねらい	○ 手作業によるものづくりを通して、人間の生活や産業を豊かにしてきた技術についての興味や関心を高める。また、ものをつくる際の苦勞と達成感を感じることを通して、ものを大切にす る態度を身につける。 ○ 使用目的や使用条件に即した製作品の設計・製作をするために工具の使い方を工夫できる。 ○ ものをつくるときに必要な道具や機械のしくみを知り、それらを安全で能率良く使うための技 術を身につける。 ○ 身の回りで使われている材料の種類や特徴を理解し、構造の強度に反映させられる知識を身に つける。
使用教材	教科書：東京書籍「新編 新しい技術・家庭 技術分野」 補助教材：木材、実習セット

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点	評 価 の 方 法
①生活や技術への 関心・意欲・態度	・ものづくりに関する技術について関心をも ち、生活をよりよくするために、知識と技 術を進んで活用しようとする。 ・授業への参加の様子 ・プリントの記入内容 ・振り返りカードの記入内容
②生活を工夫し創 造する能力	・生活と技術とのかかわりについて見直し、 課題を見つけるとともに、その解決のため に技術を適切に活用して工夫し創造でき る。 ・立体を正しい書き方で表現できる。 ・授業での発言内容と行動 ・工具使用の様子 ・プリントの記入内容 ・立体の構想図の仕上がり状況
③生活の技能	・ものづくりに必要な基礎的な技術を身に つけ、その技術を安全で適切に活用できる。 ・製作の様子 ・工具使用の様子 ・作品の仕上がり状況
④生活や技術につ いての知識・理解	・生活や産業の中での技術の役割について理 解し、ものづくりに必要な基礎的な知識を 身につけている。 ・授業の様子 ・定期テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
後 期	1. 生活と ものづくりの技術 2. 材料の特徴と 加工方法	①機械や電気機器に利用されている技術の意味や役割を調べようとしている。 ②生活と技術との関わりについて考え、技術を適切に使う方法を工夫している。 ④生活を変化させてきた技術の役割と、その発達に関する知識を身につけている。 ①身の回りの製品に使われている材料の特徴を調べようとしている。 ②製作品の使用目的に合わせて材料の特徴を活かしながら、強度の高い構造をつく るための工夫をしている。 ④材料の特徴と利用方法に関する知識を身につけている。また、製作品の使用目的 や使用条件と構造との関連を理解している。

	3. 設計	①製作したい物を意欲的に考え、目的とするものを表そうとしている。 ②製作品の使用目的や使用条件と機能を結びつけることができる。自分が構想したものを図で表すために、ものの正面を分かりやすい面で描くように工夫している。 ③製作品の構想をキャビネット図または等角図によって表すことができる。 ④設計時に必要な構想図の、表示方法に関する知識を身につけている。
	4. 部品の加工	①加工技術や工具の仕組みに関心をもち、工具を適切かつ安全に活用しようとしている。 ②工具と材料の特徴、製作品の形状などに適した加工方法を選択することができる。 ③製作の目的と材料に適した加工を行うことができる。 ④加工技術に関する知識を身につけ、工具の仕組みを理解している。
	5. 組立てと仕上げ	①加工技術や工具の仕組みに関心をもち、工具を適切かつ安全に活用しようとしている。また、最後まであきらめずに製作品を作っている。 ②工具と材料の特徴、製作品の形状などに適した加工方法を選択することができる。 ③製作の目的と材料に適した加工、組立て、仕上げを行うことができる。 ④加工技術に関する知識を身につけ、工具の仕組みを理解している。
	6. 「ブリッジコンテスト」	①条件を考慮し、目的を達成するために意欲的な設計を行うことができる。 ②工具と材料の特徴、製作品の形状などに適した加工方法を選択することができる。 ③製作の目的と材料に適した加工、組立て、仕上げを行うことができる。

4 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学 校	・実習の授業では、衣服が汚れる恐れがあります。必要と考える場合はジャージを準備し、授業前に着替えておきましょう。 ・授業中に見たこと、聞いたこと、体験したことで気になることは随時メモしておきましょう。 ・先生の話をよく聞くことで、安全に能率よく作業ができるように技術の向上を目指しましょう。 ・提出物は期限を守って必ず出しましょう。
	家 庭	・新しく開発された技術・工具や製品はニュースなどでチェックしておきましょう。